

企業見学キャラバン
平成26年7月29日(火)

7月29日(火)は梅雨明け後間もない真夏日と呼ぶに相応しい暑い暑い1日になりました。3校の高校・大学の学生、今回スケジュールの都合がどうしても合わず学生が参加出来なかったことから専門学校を代表して理事長が参加。その他、相模原市の職員とスタッフの総勢26名で、未来の為の市内企業見学バスツアーに出発しました。

朝8時半にJR相模原駅に集合し、相模原市内優良企業5社を見学し、夕方4時半に相模原駅に戻ってくる、かなりハードで濃い1日です。

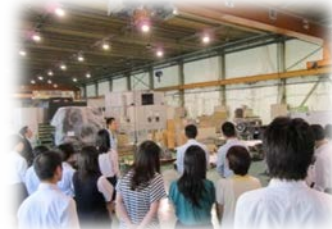
それぞれ業種も業態も違った工場・作業場を見学し、参加者たちはものづくりの魅力に触れることができました。



お昼の休憩を挟み、午後最初の工場見学にお伺いしたのが、扶桑精工株式会社様です。

お昼休みの場所まで提供して頂き有難うございました。扶桑精工様は金型製造を得意としている会社です。ガラス瓶・ペットボトル・プラスチック用の金型製造の現場を中心に見学させて頂きました。下鶴室長の会社説明と清水様の事業説明を色々聞かせて頂きました。実際に金型に触れさせて頂きましたが、小さな瓶の金型の重さにはびっくりでした。皆、開口一番「重っ!!」という言葉でした。自分の前に持った人が言っているのを聞いているのだから、「重いと」分かっているのに、想像を上回る重さだったのでしょうか。又、瓶底に製造年月や製造工場の情報が刻み込まれていたなんて初めて知りました。最近瓶を手にする機会が減ってしまいましたが、瓶を手にした時のウンチクが言えそうです。技術者にしか分からないようなデザインの違いもあるようで、熟練の技を感じました。

実際に第一～第三工場を見学しましたが、工場の広さに驚かされました。大小様々な機械があり、それ以上にドリルの種類が豊富なことにも驚きでした。加工途中の金型も沢山見ることができました。大きいものでは、船舶のエンジン用の金型でした。あまりの大きさにどんな完成品が出来るのかも想像出来ないほどでした。その金型を作る機械も大小様々で、1台何千万円もする機械が沢山並んでいました。



工場を見学した参加者からは、

- ・金型を作っているところを初めてみた。とても凄かった。
- ・研磨機械や色々な作業工程が興味深かった。
- ・大きい機械やドリルが凄かった。

扶桑精工の皆様、本当に有難うございました。